

議会報告会と町民との意見交換会を開催しました。

参加された皆様に心から感謝申し上げます。



5月23日(月)文化センター

5月24日(火)御影公民館

閉会中の委員会活動

総務文教常任委員会

防災マップの取り組みについて
ふるさと納税について
他所管に関する事項について

産業厚生常任委員会

農業施策の現状と課題について
農作物の生育状況について
他所管に関する事項について

議会運営委員会

議会の運営とその諸規定について
議長の諮問に関する事項について

清水町議会報告会と町民との意見交換会 アンケート集計結果

「議会報告会と町民との意見交換会」を2会場で開催し、合わせて17名の参加がありました。現在、各委員会では内容を精査し、結果の報告に向けて調査・検討をしているところです。アンケート調査は受付時に配布し、終了時に回収しました。回答者数は15名(清水地区9人、御影地区6人)です。

Q 1. 性別

男性	15
女性	0
計	15

Q 2. 年齢

20歳代	1
30歳代	1
40歳代	1
50歳代	2
60歳代	4
70歳以上	6
計	15

Q 6. 「意見・提言等の聴取」の時間はどうか。

長かった	3
ちょうどよかった	9
短かった	1
無回答	2
計	15

Q 9. 清水町議会のホームページをご覧になったことはありますか。

よく見ている	2
時々見ている	6
インターネットを利用しているが見たことはない	2
インターネットを利用していないので見たことはない	3
無回答	2
計	15

Q 3. 「議会報告会と町民との意見交換会」の開催をどのように感じましたか。(複数回答)

議会日より	7
広報しきずおしらせ版	6
新聞折込みチラシ	6
ホームページ	3
その他	4
計	26

Q 7. 「議会報告会と町民との意見交換会」を評価しますか。

評価する	8
どちらとも言えない	7
評価しない	0
無回答	0
計	15

Q 10. 清水町議会の本会議や委員会を傍聴したことはありますか。

よく傍聴している	3
時々傍聴している	4
傍聴したことはない	6
無回答	2
計	15

Q 12. ご意見・ご要望

- ①暑い中ご苦勞様でした。
- ②もう少し、フランクに話ができる会を望みます。
- ③ホームページでの委員会・全員協議会議録の公開、議会報告会の掲載への速やかな対応について評価します。議会が何をやっているか、定期的に住民に説明する機会は重要で、一層の取り組み強化を期待しております。

Q 4. 「議会報告」の内容はどうか。

わかりやすかった	4
どちらとも言えない	7
わかりにくかった	2
無回答	2
計	15

Q 5. 「議会報告」の時間はどうか。

長かった	1
ちょうどよかった	10
短かった	2
無回答	2
計	15

Q 8. 「議会日より」を読んだことがありますか。

読んでいる	12
興味があるものだけ読んでいる	1
読んでいない	2
無回答	0
計	15

Q 11. 清水町議会議員に期待することは何ですか。(複数回答)

町政の監視機能	6
具体的な政策の提言	8
町民との対話	8
議会情報の発信	5
その他	0
計	27

築を国に求めたい。
TPPなど、依然として農業者の間に影響への不安がある中、今秋にも策定される国の政策の中に、将来を見据えた恒久的かつ安定対策を望むものである。
5月に決議がされた十勝町村会の「100年先を見据えた農業政策の確立を求める決議」について、町長の所見を伺う。
高薄町長
要望を5つ挙げており、1つ目は、農業政策の確立を図ること。2つ目は、農業者を守る対策から増やす(増える)政策を講じること。3つ目は、「農業は国民の共有財産」で「農業支援=消費者保護」であること。4つ目は、経営計画、所得・価格の安定対策がきちんとできるような措置を法制化する。5つ目は、全国画一ではなく「適地適業」の制度とする。この5つを中心に今後の農業を考えてい

ただたく、十勝の統一意思として決議したので、本町も決議に沿ってTPP対策を進めていく。
公職選挙法改正に伴う主権者教育を若者に
佐藤幸一議員
公職選挙法が改正され、選挙権年齢がこれまでの20歳以上から18歳以上に引き下げられ、本年6月19日から施行される。この70年ぶりの公職選挙法改正を機に、若者が「選挙は自分たちの代弁者を出す自分たちのもの」という意識を持つ主権者教育を進めていただきたい。
①18歳以下の子どもたちに、学校での授業以外で現在まで行ってきた主権者教育を具体的に伺う。
②若者の投票率が低い原因とその対策を伺う。



佐藤幸一議員

伊藤教育長
①授業以外で主権者教育は行っていない。6年生と中学校の社会科の授業で政治の働きなどを学び、選挙の意義について考えるようになってきている。
選挙年齢が18歳に引き下げられたことにより、文部科学省に「主権者教育の推進に関する検討チーム」が設置されたので、今後の国の動向に注視していく。
山本選挙管理委員長
①パンフレットの配布や選挙啓発ポスターコンクールの募集案内を行っている。選挙での投票は大切な権利であるので、今後も啓蒙に努める。
②自分が投票しても何も変わらない、誰に投票したらいいかわからないなど、政治そのものへの関心の低さが挙げられる。しかし、7割超の高校生が「社会や政治に参加すべき」参加した方がよい」と答えている調査結果もあり、期待するところも、

投票行動を促す啓発活動を継続して行い、投票率の向上に努める。
清水町としての甲意の表し方
高橋政悦議員
町民が故人となられた場合、町として全ての方に感謝の意を表す姿勢が必要であると考えます。
現在、町では供花や弔文により弔意を表し、町の代表者の参列は限られた故人に限定されている。本町では年間1300件前後の葬儀が執り行われており、タイミングによっては町長、副町長の参列がかなわない。公平な対応は難しいが、町として、弔意の表し方に心を込めることが必要だと考えるがいかがか。
高薄町長
弔意を表すことは大切



高橋政悦議員

なごうと認識している。弔辞は、職員が休日をおかず出向き、故人の経歴などの聞き取り調査をしなければならず、家族も葬儀の準備や弔問客の接待などで忙しい時であり、お互いの負担が大きいため、お互いの負担を軽減することから割愛させてもらった経緯がある。葬儀への参列は個人・公務の境が難しいが、できることはしなければならぬと考えている。
最近の葬儀の約4割超が町外で行われており、検討を加える必要もあるが、過去の経緯も理解いただきたい。
読書活動の意義と環境づくり
高橋政悦 議員
本町の図書館は管内でも上位の蔵書数を誇る。貸出冊数は一人当たり6冊であり、これは都道府県別ランキングの8位に相当する。しかし、町民

の利用登録は約2300人であり、しっかりと活用には至っていない。もっと多くの町民に読書活動の意義を理解していただくような環境づくりが必要である。
電子図書館の併設など、時代のニーズに合わせた環境整備がまちづくりにも効果的であり、期待できると考えるがいかがか。
伊藤教育長
電子図書館は現在、札幌中央図書館等で実施されており、24時間いつでもどこでも利用でき、本の返却も容易で、文字の拡大や自動読み上げ機能もあり、高齢者にも楽しめることの評価がある。その一方でインターネット環境の整備、電子書籍の充実や著作権などの法的整理が課題として挙げられている。導入するにはシステムも含め、相当の予算が必要になることから、今後の動向に関心を持って研究していく。